

## 説明書

(令和5年8月5日作成)

### (不誠実対応①)

行方不明であった悠生君が見つかり、司法解剖を終え、吹田警察署において、やっと私ども両親が悠生君に会える直前のタイミングで、悠生君の母親(清水亜佳里)に対して施設長(宇津慎史)が、悠生君の母親(清水亜佳里)が、前日に児童発達支援管理責任者(宇津雅美)に対して罵倒した事実について謝罪要求をしてきた。

さらには、その(施設長:宇津慎史)が謝罪要求した事実自体を、「アルプスの森(施設長:宇津慎史)」は、無かったことにしようとしている。

### (詳細事項)

悠生君が発見され(令和4年12月16日)、吹田警察署から大阪大学へ司法解剖の為に搬送される前のタイミング(15時24分)にて遺族より、(児童発達支援管理責任者:宇津雅美)に対し電話を実施。司法解剖が終わり吹田警察署に戻ってくるタイミングにおいて、事故を起こした当該従業員と(児童発達支援管理責任者:宇津雅美)に悠生君に会いに来るように依頼。この時点では、児童発達支援管理責任者(宇津雅美)は、会いに来る事に関し了承していた。

司法解剖が終了し、吹田警察署に悠生君が戻る事が決まったタイミングにおいて再度(20時1分)、(児童発達支援管理責任者:宇津雅美)に電話したところ、(施設長:宇津慎史)が電話に出て来て、この時に突然、悠生君に会いに来るつもりは無いと発言。

このタイミングにおいて、前日に悠生君の母親(清水亜佳里)が、(児童発達支援管理責任者:宇津雅美)に対してクレームをつけた事に関し、施設長(宇津慎史)は、謝罪要求を行っている。

すなわち、このタイミングで遺族に謝罪要求すること自体が非常に悪質であり、遺族に怒りの感情を持たせることを誘発する行為である。遺族に怒りの感情を持たせることで悠生君に会いに行くことを避けたと考えられる。事実、「アルプスの森(施設長:宇津慎史)」の作成した回答書において、自分達が遺族側に謝罪要求を行っていたにも関わらず、以下の記載がある。

このような状況の下で、宇津等が、清水様と直接お目にかかっても冷静な対応が困難であると考えたことも、吹田警察署へ行かなかった理由です。

(回答書(令和5年7月7日作成より一部抜粋))

従って、冷静に判断が出来ないと言いつけを得るために、あえて遺族側に怒りの感情を持たせるような行動を行うことで、警察署に来なくても良い状況を作り出そうとしたとしか思えない。

遺族としては、大切な息子の命が奪われた状況下において「アルプスの森（施設長：宇津慎史）」側が遺族に対し、このタイミングで謝罪要求をしてきたこと自体が非常に非道徳的行為であると感じた。そのため、謝罪要求に関しての真意の確認を求めた。それに対する回答書(令和5年7月7日作成)の内容では、以下の様に「アルプスの森(施設長：宇津慎史)」は謝罪要求を行っていないとの主張に変わってきている。

謝罪要求の真意について確認を求められておりますが、当社は清水様に謝罪を求めたというわけではありません。「死んで下さい」とのご発言について、そのようなご発言は如何なものかという意味によるものです。

(回答書（令和5年7月7日作成より一部抜粋）)

同様の記載を以下の回答書(令和5年7月25日)でも見られ、悠生君が見つかった時、遺族の心情を踏みにじった「アルプスの森(施設長：宇津慎史)」の行為は無かったこととして処理しようとしていることが伺える。

また、当社が清水様に謝罪を求めたとされる点についてですが、当時の代表者の認識としては、謝罪を求めていたわけでは無く、(そのようなご発言は止めて頂きたいという) 願いをしていたというものでした。代表者の発言は、清水亜佳里様から無理なご要望が複数出されたために、そのようなご要望がある限り、面会に行くことは出来ないという趣旨で発言したものであり、「申し訳なかった」等の謝罪を求めていたわけではございません。

(回答書（令和5年7月25日作成より一部抜粋）)

事実、回答書(令和5年7月25日)において以下の記載もあり、遺族を傷つけている自分たちの発言には、責任を持つつもりはないと捉えざるを得ない記載をしている。

関係者の発言内容をホームページ上で詳細に明らかにすることは好ましくないものと考えております。

(回答書（令和5年7月25日作成より一部抜粋）)

しかしながら回答書(令和5年3月16日作成)には以下のような記載があり、施設長(宇津慎史)が、遺族へ謝罪要求を行っていることを明確に認めている。

代表者が清水様へ謝罪要求を行ったのは、前記清水亜佳里様のご発言に対するものであり、特に命を持って償うことを要請するものであったため、これは言いすぎでは無いかと考えたことによるものです。

但し、現時点では謝罪を要請するものではございません。

(回答書 (令和 5 年 3 月 16 日作成より一部抜粋)

従って「アルプスの森 (施設長：宇津慎史)」は、自己矛盾する虚偽記載を行っており、非常に遺族の心を逆なでする行為を続けている。私達遺族としては誠意を持った対応を「アルプスの森 (施設長：宇津慎史)」側に度々求めているにもかかわらず、その希望を「アルプスの森 (施設長：宇津慎史)」側は真摯に受け止めていないと感じている。

私ども遺族は、私どもの心中をかき乱す行為をし続ける「アルプスの森 (施設長：宇津慎史)」側にこれ以上、道徳的な対応を求めても失望を重ねるだけであることを痛感させられた。従って今までどのような事故後対応を「アルプスの森 (施設長：宇津慎史)」側は私ども遺族にして来たのか (もしくはしているのか)、私どものホームページにおいて公開させていただく。

既にかなり多くの不誠実対応を「アルプスの森 (施設長：宇津慎史)」側は悠生君遺族に行ってきているので、当方のホームページにおいては、これらの「アルプスの森 (施設長：宇津慎史)」側の不誠実対応に関し、出来るだけ丁寧に 1 つずつ説明させて頂く予定である。